

# アカゲラ通信



## オオウバユリが旭山から消えた

7月に花が咲くオオウバユリ。かつて旭山記念公園や旭山都市環境林では普通に見られ、小群落も何か所かありました（写真②）。

しかし、ここ2、3年花はほとんど見られておらず、今年も見つけることができませんでした。オオウバユリが咲かない野山は寂しい限り。

見られなくなった原因として考えられるのは、エゾシカによる食害。

エゾシカはオオウバユリが好物で、西岡公園ではオオウバユリにネットをかけ、鹿の食害を防いで保護しています。

エゾシカはここ5、6年で旭山でも四季を通して普通に見られるようになり、夏には親子6頭いたこともあります。

オオウバユリは今年も春先には葉が出てはいましたが、それも食べられてしまえば、なくなってしまう可能性があります。

ヒグマもオオウバユリが好物とのことです。

●（オオ）ウバユリは英語で”Heartleaf Lily”、ハート形の葉が特徴ですが、春の芽出しの葉がまさにそんな感じです（下写真③、④）。

●オオウバユリは発芽してから花が咲くまで8年かかります。

春に葉を出して根に栄養を蓄えて秋に地上部が枯れ、それを繰り返して8年目に花が咲き、種子が作られるとその株の命が終わります。

●アイヌの人は根（根茎）からデンプンを採って食料としていました。

●オオウバユリは塔状の茎の先に種が入った袋が形成され、秋に袋が割れると中の種が見えます。

その段階で茎を揺らすと、シャカシャカという音とともに種が飛び出します（下写真⑤、⑥、⑦）。

エゾシカなどの動物が茎に触れて揺れることで種をより遠くに飛ばして散布するという戦略をとっています。その点ではエゾシカも「協力者」ですが、食べられてしまってはどうにもなりません。

種がなくなった茎は冬まで残るものもあり、雪の上に立っている姿は印象的です（下写真⑧）。

旭山でもまたオオウバユリが見られることを願っています。



## レストハウス「ぼるく」2024年8月

旭山記念公園レストハウス【ぼるく】です。

北海道にもいよいよ夏がやってきましたね。

暑い時こそ【ぼるく】のソフトクリームはいかがでしょうか？

只今レストハウスでは、8月7日が旧暦の七夕ということもあります。ご来場のお客様には、短冊に願い事を書いていただいております。

短冊はレストハウス内に飾させていただきます。

皆様の願い事がかないますように！

ちなみに私の願い事は、ひ・み・つ、です。



# 旭山野鳥メモ番外編① ヒバリ

ヒバリ Eurasian Skylark *Alauda arvensis* スズメ目ヒバリ科

今回から不定期に番外編として旭山未記録の野鳥を取り上げる。

第1回はヒバリ。本州以南で留鳥。北海道では夏鳥。渡来時期は夏鳥としては早く、3月中には見られる。稀に越冬個体もいる。

農耕地、河川敷、草原に普通だが近年高原にも進出。

旭山では昔「はげ山」だった頃に生息していた可能性はあるが、確かな情報はない。今後は通過個体が見られることがあるかも。

ヒバリが見られる旭山から最も近い場所は豊平川河川敷。

ヒバリは大きな声で賑やかに囀りながら空中停止する姿で知られ、これは「揚げ雲雀」と呼ばれる。今風にはホバリング(空中停止のこと)とかけて「ヒバリング」と呼ぶ人も。

日本ではおなじみの野鳥で、英名からとったファミレス「すかいらーく」から(会社のロゴの鳥はとてもヒバリには見えないが)、伝説の国民的歌手美空ひばりまで。かつては上野と仙台を結ぶ特急「ひばり」もあった。

英欧でも古くから親しまれ、ハイドン弦楽四重奏曲「ひばり」やヴォーン・ウィリアムズ管弦楽曲「揚げひばり」などのクラシックから、ロックにも題材にとられた曲がある。

茨戸川緑地。6月にはあれだけ草原性野鳥で賑わったのに、8月後半になると鳥の声も姿もまばらで、ヒバリとカワラヒワしかいなかつたなんてことも。いや、ヒバリがいて良かった。そんな思いにさせられる野鳥だ。

## 2024年8月の野鳥トピックス

- シマエナガ：7月中はほぼ毎日園内で見られていました
- キビタキ：囀りは落ち着き、幼鳥が見られるようになりました
- コサメビタキ：7月中旬からよく見られ幼鳥もいます(右写真)
- オオルリ：囀りは時々、幼鳥の観察情報もちらほらとあります
- アオバト：園内でたまに声が聞かれ姿も見られるくらいです
- メジロ、ヒヨドリ：そろそろミズキの実を食べに来る頃です
- クマゲラ：園内に時々やって来ますがいつ来るか分かりません
- アカゲラ：今年も頭部が赤い幼鳥が見られています(写真は下)
- オオセグロカモメ：7月下旬からなぜかよく見られています
- カラ類、センダイムシクイ、メジロ等幼鳥：数種の混群「とりのようちえん」も見られます



## 旭山生き物ミニ図鑑2024年8月



アカゲラ幼鳥頭頂部すべて赤い



ホバリングするルリボシヤンマ



ルリボシカミキリ人気の昆虫



コバネカミキリ今年よく見る



クサギの花(低木)秋に青い実



散策路沿いに多いダイコンソウ



ヨツバヒヨドリ@展望台北西斜面



ミズキの実野鳥が大好き



公式サイト

「アカゲラ通信」 第130号 2024(令和6)年8月4日発行

(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351